

地震が起きたら

地震発生時の行動マニュアル

地震発生

(((!!))) まずは身の安全を確保する

緊急地震速報

地震が発生してから、その揺れを検知し、解析して発表する情報です。一般に、緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、場合によっては緊急地震速報が強い揺れの到達に間に合わないことがあります。



屋内にいる場合

一般住宅

- 身を守るため、丈夫な机の下などに隠れる
- あわてて外に飛び出さない
- 火の始末はすばやく行う（火元から離れているときは無理に火を消しに行かない）
- 扉を開けて避難路を確保する

大規模店舗など

- あわてずに施設の係員や従業員などの指示に従う
- つり下がっている照明などの下から退避する

エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

屋外にいる場合

路上

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる

自動車運転中

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する

山や崖付近

- 落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる

揺れがおさまったらやること

- まずは周囲を確認し、身の安全を確保する
- あわてて行動すると、転倒した家具類、飛び散ったガラスの破片等でケガをするおそれがある
- 小さな揺れとき、または揺れがおさまった後に、窓や戸を開け、出口を確保する



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声を掛けよう

- 我が家の安全を確認後、近所にも声を掛けて安否を確認する

出火防止

- 電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉める



避難の判断

テレビ、ラジオの報道に注意してデマにまどわされないようにしましょう。市町村役場、消防署、警察署などからの情報には、たえず注意しましょう。不要、不急な電話は、掛けないようにしましょう。特に消防署等に対する災害状況の問い合わせ等は消防活動等に支障をきたすのでやめましょう。



避難の行動、救出・救護活動

軽いケガなどの処置は、みんながお互いに協力し合って応急救護しましょう。建物の倒壊や落下物などの下敷きになった人がいたら、地域みんなが協力しあって救出活動を行いましょう。



揺れやすさマップ

